内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

3月30日 水曜日 29日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話(代表)京橋(56)8646
(直通)販売(〃)0437広告(〃)3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝(43)1163番
東京振替貯金口座 170071番

第3051號 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認第232號)
(中華郵政台字第637號執照登記爲第2類新聞紙類・內政內警臺誌報係內台警字第0136號)

4版

天気予報 [illegible]

知事選挙戦始まる

保守・革新の決戦へ

定数突破 早くも各地で舌戦

[illegible]

市町村長、議員は同廿日それぞれ告示が行われる

立候補者氏名 (正午現在)

東京都 [illegible]

北海道 [illegible]

岩手県 [illegible]

秋田県 [illegible]

新潟県 [illegible]

長野県 [illegible]

大阪府 [illegible]

三重県 [illegible]

和歌山県 [illegible]

徳島県 阿部 邦一55 前知事 自由前 [illegible]

福井県 [illegible] 菊太郎65 会社々長 無新 / [illegible] 栄造53 元副知事 無新

島根県 [illegible] 安夫56 前知事 無前(保革) / [illegible] 盛一56 前副知事 無元

福岡県 [illegible] 香鹿48 前副知事 無(民自)新 / [illegible] 多一50 前知事室長 無新

大分県 [illegible] 郁61 前代議士 無新(革統推) / 岩崎 貢61 前県会議長 無新(自推) / 細田 徳寿50 前知事 無前(民推)

宮崎県 [illegible] 博46 団体役員 無新 / 田中 長茂63 前知事 無前 / 平島 敏夫63 会社社長 無新(保)

佐賀県 二見 甚郷66 会社顧問 無新(保革) / 鍋島 直紹43 前知事 無前(保革) / 吉田 源治41 著述業 無新(左社)

長崎県 西岡 竹次郎64 前知事 自前 / 杉山 宗次郎63 会社社長 無元(保革)

鹿児島県 寺園 勝志53 前副知事 無新(民自)

党派別立候補者 (29日正午現在)

	新	前	元	計
民主		2		2
自由		1		1
左社				
右社				
共産				
諸派	1			1
(保守)	(1)			
(革新)				
無	21	10	3	34
(保守)	(13)	(7)	(1)	(21)
(革新)	(6)	(1)	(1)	(8)
(保革)	(2)	(2)	(1)	(5)
計	22	13	3	38

パリのハダカの女王



すきとおった絹のウェディング・ドレスの下は一糸纏わぬヴィナスの裸身、ふと人の足音に恥らいをみせて胸と恥部を押えた—というこのポーズはいうまでもなくストリップのひとつ、ただし場所は本場のパリはアンバサダー劇場、演ずるは「ストリップ・ティーズの女王」に選ばれた十八歳ポーランド生れのキャンディーダ・ポジャルスキー嬢と来るから本格的である【写真はキーストン特約】

本予算案 4月15日ごろ提出

閣議決定 事務折衝急ぎ終了

政府は廿九日の閣議で卅年度本予算案編成の段取りについて協議した結果、国会提出を四月十五日とし、そのため四、五日ごろには事務当局間の折衝を終るよう一万田蔵相の手もとで早急にスケジュールを組むことになった政府としては本予算案の審議期間を過去の実績からみて最短四十五日間に目安をおき、そのため十五日の国会提出を目標にそれぞれ段取りを運ぶことになったものである、また予算の印刷などの関係上国会提出日から逆算して少くとも四月五日ごろには事務折衝を終え、八日には結論を出さねばならないとしている、しかし本予算案の提出は編成手続きおよび地方選挙などがからんで十五日提出は困難視され、廿日すぎになるのではないかともみられている

暫定予算 年度内に成立期す

政府は廿九日の閣議で、暫定予算の参院審議を促進するため予算委員会には各閣僚を優先的に出席させ、他の委員会には政務次官を出席させて運営の円滑化をはかり、年度内の卅一日中に四、五月暫定予算案を成立させることを申合せた

暫定予算 参院、審議を開始

廿九日の参院予算委員会は午前十時半開会、四、五月分暫定予算案に対する総括質問を開始、まず湯山勇氏(左社)から衆院で自由党が行った付帯決議を盛りこんだものを出すのかどうかについて政府の方針を質し、一万田蔵相から「主旨は尊重するが予算案に盛り込むかどうかはまだはっきりしない」旨を答弁、ついで総括質問に入り左藤義詮氏(自)が第一陣に立つ

左藤義詮氏(自) 卅年度本予算に関する大蔵大臣の構想は閣議決定のものでないと聞いているが事実か

鳩山首相 閣議の了解をえたものである

左藤氏 住宅政策の内容を明らかにせよ

竹山建設相 四十二万戸の建設計画は目下大蔵省と折衝中で具体的数字はまだ示せない

左藤氏 予算を組むからには計画があるはずだ、公約を卅年度のうちに果せるか

建設相 もちろん政府は卅年度内に計画を達成するよう努力する

行監委員長は確保 左社国対委で決定

左派社会党は廿九日午前の国対委で次のことを決めた

一、衆院行監委員長は左社で取ることとし廿九日中にも委員会で互選する、委員長候補に島上善五郎氏をあてる

一、地域給の改訂については民主自由両党と話合いがつかなければ廿九日中に両社で公務員の給与法一部改正案を提出する

一、参院においては各委員会を一せいに開かせ公約不履行を糾弾する

四国会談開始へ

米国務省確認 米英仏で予備交渉

【ワシントン廿八日発ロイター=共同】米国務省スポークスマンのサイダム氏は廿八日、四国会談開催のための予備折衝が米、英、仏三国間で始められていることを確認して次ぎのように語った

パリ協定が仏議会で批准された現在米、英、仏三国は四国会談の見通しについて活発な協議を開始している、三国間の協議は外交機関を通じて行われている西独もいずれこの協議に参加するだろう、一切の問題はまだ協議中なので四国会談がどのような形をとるかについてハッキリしたことはいえない

なおサイダム氏は「北大西洋条約理事会前に四国会談が開かれることはあるまい」との記者団の質問にたいし「今は何もいえない」と答えた

粋人酔筆

香箱

吉田機司



蕪村の句に、

掛香やすれ違いたる宵の闇

というのがある、むかしは絹の小さい袋に香料を入れ、これを紐で首にかけ、または、帯留に下げたりした。日暮れに、ふとすれ違った麗人から、ほのかにいゝ香りがしてきたところである。

掛香やわすれ貌(がお)なる神たたみ

寝るとき、着物をぬいだ婦人が、わざと首にかけた掛香を忘れて、神たたみをしているところ、派手な長襦袢のなまめかしい姿が浮ぶ。やはり蕪村の句である。

むかし吉原には、花魁の使う箱枕に、下から香を焚く仕掛のある香枕というものがあったそうだ。

「先生、私は、とてもたまりません。あの匂いを嗅ぐと仕事も何もできなくなります。第一じっとしていられません。お願いです、どうぞ、あの香りのする木をどこかへかたづけて下さい」

これは、前に、巣鴨刑務所の若い囚人が、生暖かい風のまにまにおってくる沈丁花の高い香りに、強い性的刺激を受けて、教誨師に真剣に訴えた言葉である。

元来、においと性興奮の間には密接な関係があり、ある種の蛇の肛門の近くの分泌腺や、鰐の下顎腺からは、交尾期になるといいにおいの分泌物が出るし、雄の象の腕の下の腺からも分泌される。インドの性典「アナンガ・ランガ」には、いい香りの体臭を持っている女を「象のような女」と形容されているそうだ。昔から珍重されている麝香は、交尾期に雌をいざない寄せるために、強い芳香を分泌する麝香鹿の腹の皮の皮腺を乾燥したものである。

ミショルスという学者の研究によると、男の嗅覚は女より数倍鋭敏で、これが、自然のうちに、女性の化粧に、においを織り込ませるようになったのだといっている。異性の体臭や芳香が性興奮を喚起させるとともに、強い性興奮によって、一種の体臭が発散されることも認められている。

インドのベル族や、アメリカのインディアンは嗅覚のすぐれた民族とされているが、彼等の間では、自分の夫なり、妻なりが、他の異性と抱擁や接吻したことまで、においで嗅ぎわけるそうだ。こんな女を女房にもったらとてもかなわない。

セント・フィリップ・ネリという浮かれ女は、自分に接する男が童貞であるかどうかを、はっきり嗅ぎ分けることができたそうだ。上には上があるものである。

また、ニューカレドニアの女は、性的接触の際に発したにおいが、一週間も続くそうだ。これが日本人だったら電車の中などはどんなことになるだろう。

私の友人のM画伯がパリで経験した金髪の美人は、まことにもって、馥郁たる芳香を放って、その香りは、なんとスミレのようだったそうだ。そして、彼は、その際に使用したハンケチを持ち帰って、広口壜の中に入れておき、ときどき蓋をとって嗅いでは、春風駘蕩たる気分に浸っていたそうだ。しかも、その芳香は一ヵ月間も消えなかったというからたいしたものである。江戸の川柳に、

香箱に火の気団かぬ闇炬燵

というのがある。香箱というのは、あれの隠語で、女がつつましく炬燵にあたっている風景をよんだ句である。それにしても、香箱とはよくも名付けたものである。



米陸軍長官けさ羽田着

スティーヴンス米陸軍長官は極東地域の米軍事施設を視察のため廿九日午前九時四十五分羽田着の軍用機で来日した、また同機で第八軍司令官に予定されているレムニッツァー大将も来日した、スティーヴンス長官は午前十一時半京城に向い、三月卅一日ふたたび日本にきて四月一日杉原防衛庁長官と会談する予定であり、同日午前座間で行われる極東軍司令官および第八軍司令官の交代式に臨む、ついで二日沖縄をへて台湾に向かう

今回の視察旅行は定例のもので約二週間、日本、韓国、台湾などの米軍事施設を見て回るためだ、杉原防衛庁長官に会うのは儀礼的なもので、特定の問題について話すわけではない



羽田で記者団に語るスティーヴンス陸軍長官、右はレムニッツァー第八軍新司令官

日本の即時国連加盟など

米議員が提唱

【ワシントン廿八日発AP=共同】米上院外交委員会のマンスフィールド委員(民主党)は廿八日、上院で日本の即時国連加盟を要請して次のように述べた、また日本の国連加盟を支持し、日本の危機を救うため直接的措置をとることは極東の平和と進歩を望む諸国の共通の責任である、米国はまた次の諸点に関するできる限り広範な国際協定の締結に向って積極的な外交政策を推進すべきだ

一、日本の国境線の調整

二、極東問題の全般的解決のための国際会議への日本の参加

三、戦争前日本に開放されていた漁場へ公平正当な立場での出漁

比側、希望項目のリスト提示

賠償予備会談

日比賠償交渉第一回予備会談は廿九日午前十時から東京品川のプリンス・ホテル別館で日本側中川アジア局長、フィリピン側セザール・ラヌサ公使以下両国全委員が出席して開かれた、同日の会議ではこんごの会談の進め方について協議したのち、比側代表が携行してきた賠償希望項目のリストを提示、これについての総括的な説明を行っただけで正午すぎ会談を終った

地方選挙対策など協議

民主党支部長会議

民主党では廿九日午前十一時から東京グランド・ホテルで全国都道府県連合支部長会議を開き、政策大綱、地方選挙対策などを決めた、また地方選挙対策本部役員として本部長に鳩山総裁、事務総長に武知勇記氏を決めた

自由党の回答まち

A・A会議代表の人選

根本官房長官は廿九日の閣議終了後、A・A会議代表派遣問題について「自由党から正式な意思表示があれば一日の閣議で決定したい」と次のように語った

A・A会議の代表について岸幹事長を通じて自由党の意向を打診しているがまだ何らの意思表示がない、従ってきょうの閣議では議題にならなかった、正式な意思表示があれば早急に決定するが、多分一日の閣議で決まるだろう

公務員制度調査会長に大久保国務相

鳩山首相は廿九日の閣議で公務員制度調査会会長に大久保国務相(給与担当)委員に一万田蔵相、川島自治庁長官、根本官房長官、林内閣法制局長官をそれぞれ指名した

日独資産返還で共同決議案

米下院民主党議員が

【ワシントン廿八日発AP=共同】米下院のモルガン、ピルチャー両民主党議員は廿八日下院に対日独接収資産返還問題にかんする共同決議案を提出した、この決議案は米国が第二次大戦中接収された日独両国民の資産を返還できるよう日独両国と外交交渉を行い、協定を結ぶべきであると述べている

ジグザグコース

紙屑の中で花見は踊ってる 機司

これは本紙川柳欄の選者であり、千葉県の公安委員でもある吉田先生の近作だが、お花見のハシリでもあった廿七日の日曜日、上野の山をはじめ、行楽客が帰ったあとは例によって紙屑の山だった。行楽シーズンとは紙屑シーズンでもある—というのも困ったものだが、それよりも困りものは、酒ゆえの事故がたて続けに起ったこと。花見時は例年酒の事故が多いのだが、それにしても近頃の酒の事故は目立ちすぎる。

酒の殺人

廿六日、新小岩特飲街でケンカのうえ一人が殺され、一人が重傷を負ったが、相手は酔いどれ青年だった。廿四日には日本橋で飲んだ会社員一人が十人と口論のうえ通三丁目交番で鈴木巡査に乱暴を働き、同巡査に警棒で殴られた事件があった。巡査の行きすぎもあったろうが、その二人はほとんど意識不明なほど泥酔していた。同じ日、目白の旅館で矢口恵美子さん(三)という若妻が自殺した。運転手である夫の酒グセが悪いのを悲観したのだ。酔いどれ運転の交通事故もグンとふえてきた。

廿三日から廿七日にかけて、銚子で密造ショウチュウを飲んだ男六名が死んだ。飲んだら眼がカスミ、全身がシビレて、そのうち次々とあの世行きになったという。国税庁の話では、密造酒は百卅万石も出回っているそうだが、花見シーズンをねらって殺人酒はグンとふえるに違いない。まったく恐ろしいことだ。これら一連の事件をみると、例年より人命に関するものが多い。まさに"酒の殺人"である。

お花見といえば電車の中の酒盛りや、泥酔者の"小間物屋"が一般の非難を浴びるだろう。でも、こう物騒になると、まだ"小間物屋"ぐらいならよいから、生命を落すようなことだけは、なんとかやめてほしい—といわなければなるまい。紙屑の山だけならトラックで片づく。いったん失った生命は、何台トラックを動員しても、二度とふたゝびこの世にもどってはこない。いや、まったくの話が。(畠)

大井競馬

11時

3月30・31 4月1・2・3・4

市況

底入れ観で小戻す

前日ダウ平均三百五十円台割れかたが日証金の融資残も廿五億円台に減少したので底入れ観が台頭する一方、大証券もそろって優良株中心に押目買を入れてきたので市況は下げ止りから次第に小戻し歩調に転じている、特定株は朝方仕手株に寶方の万単位の売物も見られたが三井不、菱地所、日鉄株が八—十三円高を示し、また味の素が紐付に十円方鉄反発したのにつれて軒並五円内外小確り、雑株も売物が細っているため四社の手ぞろい買から王子紙、、日光興、徳山曹、東京製鋼など優良株に三—五円方小確りのもの多く全般に明るい場面となったが商内は低調

▽高い株 東寶十八円、三井不十三円、味の素十円、日鉄鋼九円、菱地所、三井物八円、平和不、藤田興、日本理化六円、徳山曹、北海電五円

▽安い株 日産化五円

東京株式仲値

□新株落△配当落 (29日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		昭電工	68	旭化成	297	カボン	50
東海上	280	日本曹	68	山陽パ	91	三井物	139
郵船	62	加電化	72	日本パ	88	第一物	94
新三菱	85	三菱造	72	国策パ	91	白木屋	240
日清紡	266	三井造	103	東北パ	107	高島屋	79
味の素	275	三菱重	59	大東紡	88	日活	81
三越	265	石川重	93	商船	54	松竹	188
平和不	198	[illegible]工	135	三井船	52	東宝	1250
三井金	108	東洋ベ	107	飯野海	45	大映	171
三菱鉱	92	日立造	44	西武	—	日本粉	117
日鉱	81	浦賀	44	藤田興	214	日清粉	146
住友金	100	日平	27	東京ガス	62	日本ビ	152
三菱金	45	古河電	68	東電	425	朝日ビ	161
古河鉱	69	日立製	71	日銀	1800	キリン	194
同和鉱	113	東芝	65	東銀	77	宝酒造	76
住友炭	64	三菱電	94	三井銀	869	台糖	187
三井山	63	小松	66	富士銀	—	明糖	101
北海炭	55	日本光	153	日証金	90	甜菜糖	96
東邦亜	65	キヤノ	142	安田火	115	野田醤	191
帝石	60	東京光	39	大正海	91	森永	258
日石	88	東洋紡	137	住友海	80	明菓	152
昭和石	81	鐘紡	127	千代田	75	日水産	72
東燃	138	富士紡	109	鋼管	68	昭和産	79
三菱石	92	大日紡	82	日製鋼	73	東洋醸	90
大協石	98	日東紡	61	八幡鉄	51	合同酒	92
日東化	69	片倉	36	富士鉄	50	三楽	75
日産化	69	呉羽紡	82	神戸鋼	62	大阪糖	139
三菱化	80	東邦レ	100	日特鋼	132	王子紙	190
三井化	96	帝[illegible]	67	日軽金	166	十条紙	203
昭和[illegible]	101	中[illegible]	55	日金工	59	本州紙	85
東合成	91	帝人	117	日セメ	127	三菱紙	91
信越化	72	東洋レ	156	磐城セ	250	北越紙	48
東高圧	105	三菱レ	118	小野田	79	三井不	779
		倉レ	72	横浜ゴ	190	三菱倉	498
				旭硝子	136	三井倉	93
				富士写	117	渋沢倉	—
				小西六	102	東洋埠	197

ないがい川柳

吉田機司選

ゆきとゞき過ぎて近所に噂され 葛飾 福田こうじ

勝つたのは猿負けたのは豚となり 葛飾 枯すすき

親展の差出人は書いてない 千葉 中林番司

賑かな声で夜明けを牛乳屋 市川 川崎火呂志

村中のさわぎロケーションが来る 杉並 白石悦子

仲人になつてはき馴れない袴 荒川 藤井紫雲亭

【賞】テレビ塔四谷の空に穴をあけ 市川 佐々木喜市

内外抄

暫定予算案が付帯決議付で衆院を通過した。何でもそのままでは通さぬことになっとる。

◇

知事選挙戦の幕あき。三選組が有利かどうだか、何しろ飽きッぽい国民なんだからね。

◇

AA会議に重光外相を押出そうとの議には大賛成、片足でもアジア外交の地固めには一番。

◇

米国から「原爆乙女」廿人を治療に招く。今さら見世物や研究材料のためではなかろうな。

◇

きょう中共から最後の集団帰国組が帰着。はじめて祖国の桜を見る子供達に大和心の餞金遺れ。

浅草の鬼 (123)

浜本浩
栗林正幸 画



川の東(六)

「ごらんよ、座長さんだよ、あれが。格幅がいゝわね。千惠蔵に似てやしない」

軒下に佇んだ女工さん達の中から、そんな囁きが聞えて来る。

「あたいは、あの書生さんだな。ほら、ゆうべの黒田節さ。池部良ちゃんてところだよ」

べつの、だみ声が割込む。

菊三郎は、ちょいちょい横眼をつかい、晩の芸題を披露した。

「一座、体当りの大熱演をもちまして、お相手いたしますれば、嬢チャン、坊チャン、奥さん、旦那さん、お婆チャン、お爺さん、どなたも早々と、ご当地大衆劇場さしてご光来——」

トンと一挽ち太鼓が鳴って、月形半平太と国定忠治が歩き出す。

「いけねえ」

梧郎は、危くのめるところだった。踏み出すとたんに、足駄の鼻緒が切れたからだ。

触太鼓は、お構いなく右手の横町へまがって行った。

梧郎は、緒の切れた足駄を片手に、ぴッこひきひき追いかける。と、何を踏んだのか、裸足の方の指の付根が、ズキズキと痛み出した。

日も照らぬ場末の裏町にも、八百屋と荒物屋と飴屋の店が鼻突き合わせた、小さな辻がある。連中は、そこで太鼓を鳴らして、おくれた梧郎を待っていたのだ。

「おや、旗野さん、血よ——」

さすがは女だ。股旅姿の不二子が、梧郎の足許に眼をつけた。泥水に、赤い血がにじんでいる。

「どうしたんだね?」

飴屋の店先から、肥ッちょの内儀が顔を出した。男物の黒いジャケツに、野暮なスカートを穿いた五十女だった。因業にみえても、案外親切者らしい。

店先の一行に呼びかける。

梧郎は、娘の肩につかまって、何気なく家の中に眼をやった。捻じ棒だの、ぶッ切りだの、いろいろの飴をいれた箱を十ほど並べた、店の奥に、破れ外套を着た、さんばら髪の男が突立って、蛇のような眼で、じっと梧郎を睨みつけているのだった。三十前後の、血色の悪い男である。が、内儀さんは、一向におかまいなく、軒下に立てかけてあったベンチを、土間へ持ち込み、

「さァ、みなさん、お茶でもいれますに、掛けて下さいよ」と、招いた。

「君達。せっかくだから、休ましていただこう」

座長の菊三郎は、仲間にも勧めながら、紙入から、ご招待と朱印を捺した入場券を、三枚抜き取り

「おひまでしたら、お遊びにいらして下さいませ。一枚は、こちらの、おねえさんにね——」

そう断って、飴箱の硝子蓋の上に置いた。いつの間にか、古外套の男は、姿を消していたのだ。

「こちらへはいって腰をかけな。縛ってやるからさ」

そして、向いの八百屋の店へ呼びかけた。

「キミちゃん、水がいるよ」

その店から、水道のほとばしる音が聞え、青いズボンにサンダル穿いた、十七、八のショート・カットが、バケツを提げて飛び出して来た。

「肩につかまりなさいよ。洗ってあげるから」

娘は、梧郎の足首に、まるまる肥った指をかけ、

「おばちゃん、赤チンがある?」

と、きいた。

飴屋の内儀は、梧郎の手当を、八百屋の娘にまかして置いて、

「さァさァ、あんた達も、一服しなさいよ」

民謡に結ぶ鶴と亀

ピーひょろと長持唄

お馴染み〝粋人〟田辺氏夫妻の媒酌で……

結婚ラッシュの変り種

春には珍らしい長雨もカラリと晴れ上り、今シーズンの結婚ラッシュもデコちゃんの結婚（廿六日）を契機に、いよいよ最高潮に達した感があるが、これはまた〝民謡結婚〟と銘打った変り種結婚式が、牛込天神町の東京邦楽園で、黄道吉日の同日、本紙〝粋人酔筆〟でおなじみの音楽評論家、田辺禎一（尚雄）氏夫妻の媒酌で行われた



「唄など気にしないでいいのよ、ここで転んだら大変だから、足許に気を付けてネ」と田辺夫人＝左＝

○…舞台に、三味線、尺八、太鼓と唄の連中が並んでいるところへ田辺夫人に伴われた花嫁が、胸中の喜びを秘めていとも静々と現れる、それを切っかけに舞台から

ヘきょうは日も良し天気も良し
結び合せて縁となる―

と、笛太鼓に合せて〝長持唄〟なるものが唄われる、この日せっかく雨も上ってよかったようなものの、もし雨の日でもあったら天気も良し―なんてオカシなことになったろう

さてこの〝長持唄〟なるものは、その昔―花嫁さんが、花婿さんの家に、婚礼道具を伴って行列して行く道すがら唄われるのだそうだ、舞台正面にいまやおそしと待ちかまえた花婿どののわきに花嫁が座ると

ヘこなた座敷は目出度い座敷、鶴と亀とが舞いあそぶ―

と、道島甚句の祝い唄というのがひとしきり、それが終るころ男蝶女蝶の幼児が、三三九度の盃を持って現れ、唄は

ヘお嫁さまの嫁さまの花つき御膳に羈すえてあなたこなたととり交す亀のかずかずおもしろや―

と、いうことで三三九度の盃がとりかわされ、無事に式がすむことになるわけ



ヘこなた座敷は目出度い座敷―恥かしいのはご両人だけではないデス

しびれた足へ「さんさ時雨」

さすが飛出さぬ「お富さん」 最後には花嫁花婿まで



「ウマイぞ、ご両人ッ」カーンこれは失礼、のど自慢じゃなかった

この間約一時間、両家の親戚はもちろん、招待された友人やその他の者は、カラの盃をジッとにらんでいる、もっとも座敷のことだから、中には足にシビレをきらして立上れない者までてくる始末、媒酌人の祝辞が終ると

ヘさんさ時雨か
かや野の雨か
音もせで来て
濡れかかる

と〝さんさ時雨〟が唄われる、これは仙台地方の祝い唄で、披露のはじめには必ず唄われるものだそうだ、これで文字通り披露宴がはじまり、一同はナミナミと盃に酒がつがれてヤレヤレのてい、そこで花嫁は重いカツラと衣裳を脱いで、着なれた洋装姿で客席に現れる

さてそれからが大変、おミキのはいった友人や招待客はかわるがわる舞台に上って、黒田節やら秋田おばこと、知ってる民謡はノドが悪くとも唄わされ、最後には花嫁、花婿までが唄いだす、もっともこのご両人は婿どのが若き民謡研究家とかで、花嫁の方は某小学校の音楽教員ということから、その方はお手のものだが、〝酔っぱらった招待席から〝お富さん〟が飛びださなかったのはさすがである

文 池田記者
カメラ 藤沢記者



オッとコボシたら大変、貸衣裳だったら、どんなことになるでしょう

紅燈手帖

おごった果ての茶漬け飯

藝者衆の食べ物や



[illegible]

すきやきは銀座の「ゆうぎり」鳥は「なごや」と浅草の「金田」すっぽんは赤坂の「大市」が、いずれも花柳界を最上の得意としている。

このほか口のおごりの果てが「お茶漬がいいわ」などと出るのが、やはり銀座の新橋の前の「つぼ半」たまにはたものをと、駒形の「どぜう」などへも出かける。まず上のようなところへ行っては、お客としても一流といるのであろう。柳の芽蛇の目足と濡れている（蝶）【写真は料理に舌鼓打つ姐さん】

豆知識

鎮静剤 第一次世界大戦頃までアメリカの大学、監獄軍隊、療養所などでは性欲鎮静剤としてコーヒー等に硝石を入れることが流行し、実際にそれが効果があると思っていたが、最近に至って全然効果のないことが判りセンセーションをまき起している

死後分娩 アメリカのミシガン州サギノー市に住むロマン・スレビンスキー夫人（三四）は脚気衛心で卒倒したのですぐ病院にかつぎ込まれたが、同時に産気づき、帝王切開の結果、母親死亡後八分間で玉のような女の子が生れ、すくすくと成長している

蚤流き界譚

…（ポーランド）…

ペデフスキー家の女中リリアンは、ドイツから流れこんだ渡り者でしたが、こゝ一、二年来、持って生れた浮気の本領を発揮して主人のペデフスキーはじめ、年頃の長男、次男、三男ひっくるめて一家四人の男全部を自家薬籠中のものとしましたが、やがて厳粛な事実に当面する仕儀となりました。お互いに秘密のこと故親子四人はそれぞれ自分の不始末だと思い込んでビクビクものでしたが、カンジンの彼女もだれが本当の相手だか見当もつかぬ始末です。リリアンがおかしいと知ったペデフスキー夫人はある日こっそり彼女に訊ねました。「お前はもう州女なんだから別にとやかくいわないけど、お腹の子のためにも早く正式に結婚した方がいゝわよ。いったい誰なの、その子の父親は」「……」「いゝように取計って上げるからおいい」「でも…」「小娘じゃあるまいし。はっきりしておいたほうが第一、身のためよ」「…だって、本当にわかんないんですの。お腹の子の父親が、父親の子か、孫か、孫としたらどの子の孫か」に夫人、キョトンとして「全くわからない話ね」

花街は花ざかり

〝オール古典〟に張切る

柳橋



○…花街踊りも春とともに急速調だが、柳橋「みどり会」公演が三越ホールで開かれた、今回は中会だが隔月の小会などをまぜると「みどり会」も早いものでもう卅回目になるという

○…「いくら不景気でもこればかりは止められません、芸者には芸事が…」と「初和泉」の孝太郎姐さんで鳴らした組合長の上村さんが柳橋芸者の元締らしくおっしゃる、なるほど餅は餅屋で出演の姐さんたちは藤間勘右衛門、西川鯉三郎、尾上菊之丞、文字兵衛梅吉ら諸師匠の日頃の稽古よろしくしっとりと艶な雰囲気をかもし出している、その顔触れも柳橋花街の若手売れッ子揃いで輝美、さよ子、里寿、万良、藤代、百合子をはじめ節子、喜久丸百合香、文奴、年子、千代香、春美など綺麗な名取り連中で「法界坊」「椀久」「おかる勘平」「松の名所」「舌出三番叟」などオール古典の演しもので張切っていた

【写真は〝二人椀久〟を踊る喜久丸（左）と百合香】

あすの運勢

＝三月卅日＝ 高島象山

▲一月生―何事も纏り難く破れ易い同時に急変起り易く迷惑災害有

▲二月生―秩序正しく整然として活動すれば自然と多幸多福に至る

▲三月生―人盛んなれば天に勝つの義で思う處成就あり向う處成る

▲四月生―自他共に不用意よりけが災厄を蒙り易い殊に社交に注意

▲五月生―何事も安心して進展をなし心よく栄達あり移轉造作よし

▲六月生―何事も良好なる運気に恵まれ利達栄昌あり開業移轉よし

▲七月生―政策を誤り自ら失敗を招く家庭に不和身内に心配事あり

▲八月生―運気旺盛で商賣繁昌し利達あるも目下の者に心配有易い

▲九月生―運気高まりて思う事叶い栄達あり起業習調造作移轉よし

▲十月生―力つきて物亂れ易い控え目によし身内に不幸病気有易い

▲十一月生―自己の本能を発揮して効ある日多少の苦労は忍ぶべし

▲十二月生―経済的有利に進展し商賣繁昌あり思惑に利あり開業吉

モダン歳々記

トウの高木徳子

大正八年三月卅日、九州大牟田の村尾病院の一室で、巡業中の歌舞劇協会のスター高木徳子が半狂乱になって廿九歳で息を引きとった。

今の人は徳子の存在をほとんど知らないが、彼女こそ我国最初のトウ・ダンサーで、明治卅九年渡米し、メトロポリタン歌劇場の舞踊教師マダム・サラコに師事し大正三年十一月に帰朝すると、帝劇のロージーを向うに回して、帝劇に出演したり、今の数寄屋橋のニュー・トウキョーの所にダンシング・スクールを開いたりして盛んに活躍したものである。

大正五年秋には伊庭孝と提携してアメリカ風のミュージカル・コメディを持って回り、浅草オペラは実に彼女の「女軍出征」や「海浜の女王」という音楽喜劇を導火線として、これに帝劇、ローヤル館の残党が加わって始ったのである。

良人の宝石商高木陳平と伊庭孝の三角関係はついに彼女が良人と別れて永井姓を名乗ってけりがついたが、まだ女の子の洋服が珍しい時代に腿にぴったりした白タイツで、スカートをひらひらさせながら踊るその芸風は、当時の青年の血を大いに燃したものだ。今日のバレエ全盛時を迎えて、忘れられた激しい気性の彼女が思い出されるのである。（鮭）

かえ歌

投稿歓迎 締切日なし 入賞作に賞金 入選作に賞品を送ります

競馬節（元唄炭坑節）

穴が出た出た
アナが出たヨイヨイ
馬を見ないで穴が出た
あんまり馬券屋が多いので
さぞや馬相が困るだろ
サノヨイヨイ（新宿・メトロ）

恐妻エレジー（元唄湯の町エレジー）

一、露路をまがれば我が家の窓に
あかりにうつるあの姿
あゝ我が妻は
戦闘準備も勇しく
ホーキ片手に我を待つ

二、サラリー会社で貰ったけれど
いつも酒場でついいっぱい
あゝ情なや
なぜに飲んだかあの酒を
残り少い札の数（杉並・河原）

ネオン街

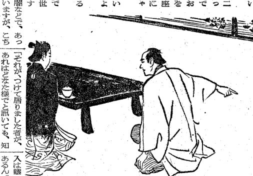
キャバレーと営業停止

春にそむいてナイトクラブ・K（銀座二丁目所在）が廃業することになったらしい、ことの起りは営業時間が夜十二時を過ぎたというので当局から二週間の営業停止を食ったことが原因、田村町のナイトクラブ・Gも同系統だが、ここも先月二週間の停止を食った、経営者としていちばん痛いのは期限付営業停止、いちどこれを食うと客足がバタリと減るからだ、二丁目のKは家賃だけで毎月百五十万人件費その他計六百万円はかかるというから二週間の停止で三百万の損失になる勘定だが、こゝの経営者新田氏は企画の名人で、さいきん開業した銀座六丁目のフランス風の五階ビルの純喫茶Hなど新しいものをどしどし生みだしているから、Kに代ってどんなものが出現するかかえって注目されている（S）

浪人街道（111）

木村荘十
野口昂明 画

心意氣（五）



佐吉は、二人の座敷へ通されると挨拶するなり、嘆息するような様子をした。

「佐吉、どうしたの、溜息なんかついて…」

「そうやって、お二人でならんでいらっしゃると、まるで周馬様が生きていおいでのようで…夢を見ている気持で御座います…ほんとによく似ていらっしゃる」

綾は、自分の思いを云いあてられたように頬をそめた。

「そんなに似ておるかな」

「いえ似ている段では御座いませぬ。世間で似ていると申すのは、ほの暗い宵闇などで、あっと思う程度で御座いますが、こちら様のは、真昼でも、行燈の明りの近くでも、見れば見るほど同じようで、自分の眼が疑わしくなります。ところで、早速で御座いますが、あの狼のような化物侍、飛んだところへ姿を現わしましたが…」

「飛んだところとは?」

「それがお嬢様、驚くじゃァ御座いませんか。老中田沼様のお邸で…」

「え」

「というと、相当の身分の者らしいが」

「左様です」

「何者だ」

「それが、つけて居りました者が、あれはどなた様でと訊いても、知っている者がないので、仕方がなく化物殿の供の者にきこうとして、酷い目に遭いまして…なんでも、無礼者呼ばわりでふん捕まるところだったそうで」

「ふむ」

「そう聞きますと、田沼様の御家来にきかせにやるのも危なっかしくて、逃げ帰ったままにしておきましたが、化物どのは、どうやら旅に出た様子で…」

「それはどうして分ったの?」

「実は、仙助が逃げ帰ったので入れ替り私が駈けつけまして、つけましたんで…仙助のいうとおり、奴は浜町の何時かの怪しい屋敷に移って居りましたが、小者をつかいまして私が…」

「どうしようね」

「あの化物には、また仙助と代って、何処までも後をつけることにしてありますが、御嬢様、旦那様にお話したら、田沼様に出入する者など、迂闊に手を出すなと仰有るに違いありませんぜ」

「あのお艶という女も一緒なのか知ら」

「それが不思議なんで…あれからあの女が影も形も見せませんので…」

「帯刀という男は?」

「帯刀は居ります」

「一緒と違うの?」

「あの女は、そんな一人の男のそばに、じっとひっついてるような女じゃ御座いません。あの屋敷は前にも、千両箱をかつぎ出したりした怪しい屋敷なんで、出入は蟻一匹でも見逃すなと云ってあるんですが不思議です。あの女だけが分らねえ。それにむささび三次の情婦と、狼どのや帯刀とのつながりも妙なもので…」

「例の抜荷買や押込とも関係がある位だから、盗賊とも何か」

啓之助がそう云ったとき、佐吉は大きく頷いて云った。

「そこで浅香様にお願いと申しますのは、二、三日周馬様になって頂きたいんで」

ラジオとテレビ　29日（火）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 子供の時間 ❶シンプン ❷ちえのポスト 25 物語「オテナの塔」	00 医学の時間 破傷風 30 やさしい科学 55 カレント・トピツクス	10 夕べの音楽 25 ドレミフア・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 劇「少年宮本武蔵」 15 バンド・タイム 45 スポーツ・ニユース	00 劇「ポツポちゃん」 20 時代劇「神変稲妻童子」 35 歌謡百貨店 津村謙他
7	00 ニユース 天気予報 15 録音ニユース 30 話の泉 渡辺紳一郎 堀内敬三 神崎清ほか	00 提琴協奏曲第2番変ロ短調 パガニーニ作曲 30 明日の農民「春の4H全国大会から」 川上隆	10 録音ニユース 20 歌うパイプオルガン 30 落語❶寄合酒 今松❷〆込み 文楽	00 録音ニユース 10 私の東京僕のパリ 石浜朗 野添ひとみ 30 お好みヒツトメロデイ	00 ラジオ夕刊 20 連続劇「今日もまた」 30 服部良一アワー 歌・朝丘みよ子 星野壽路
8	00 とかくこの世は 「花の出発」榎本健一ほか 30 民謡をたずねて 海の唄 山の唄 唄糸鈴ほか	00 ニユース 05 教養特集 座談会「石川達三さんと40分」 石川達三 学生数名	00 スターダスト・コンサート 歌・クエルバ 30 旅の風車 歌 松島詩子 青木光一 柳沢真一	00 家庭音楽会 司会 浅倉アナ 豊吉 高山正彦 30 連続講談「徳川家康」 宝井馬琴	00 クイズ「また逢いましょう」歌奴 浜田百合子 30 劇「愛の歴史」水城蘭子 金子信雄 高島陽他
9	05 ニユース解説平沢和重 15 連続劇「源義経」源氏日和の巻 村上元三作 岩井半四郎 下条正巳他	00 喜歌劇「アルカンタラの医者」 アイヒベルグ作曲 高木清 田谷力三 池田智恵子 栗本正他	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ 40 ニユースを追つて「ウラニウムの巻」	00 歌うバースデイプレゼント 司会 岸井明 30 落語❶「湯屋番」小柳枝❷「石鹸」枝太郎	00 ❶歌謡ショー シヤンバロー❷落語 円歌 30 五九童のワンダフルばあちやん 五九童 蝶子
10	15 虹の調べ 最近のアルゼンチンタンゴ集 牧博 40 芸術よもやま話 虚子	00 ❶初級国語 坂本浩 ❷上級解析 池原止戈夫 45 気象通報	05 今日のニユースから 15 劇「新選組」木村功他 30 チヤイコフスキー提協	00 和文英訳 JBハリス 30 解析（1）戸田清	00 劇「裸一貫」滝沢修他 35 劇「緋牡丹記」長谷川裕見子 村上冬樹ほか
11	20 ❶明日の話題 ❷随筆「恋人形」山田徳兵衛作	00 正札と値札 金子有造 15 新聞論調	10 わが愛する町「南米の町・日本の町」大宅壮一	00 チヤイコフスキーの四季 洋琴・オルマン	40 ジヤポニカばやり 亀倉雄策◇夜の軽音楽

テレビ ☆NHKテレビ☆ 6・00 漫画映画「ネコの失敗」 6・40 光学機械 7・30 映画「路傍の石」 8・00 劇「真昼は考える」宮崎恭子 幸田弘子ほか 8・40 独唱・グルリツト久子

☆日本テレビ☆ 6・00 劇「私のお母さん」 6・20 クイズ「安宅の関」 6・50 探訪「堀内油田」 7・30 スピードスケート大会日本代表歓迎大会（後楽園） 9・10 今日の出来事

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 西尾実	8・00 療養の時間 小池	8・05 歌のない歌謡曲	8・25 劇「ミナモトさん」	7・35 放送論壇 伊藤正徳
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	8・35 劇「花のゆくえ」	8・40 今日もよい子で	8・10 劇「おとこ大学」
8・30 えかきの書中川一政	9・30 線方府県めぐり	9・05 チヤツカリ夫人	9・00 昔の歌今の歌	8・45 お好み歌謡曲
9・45 青いノート 木崎豊	10・00 春のラジオ・クラブ「こども名作集・小、中高校生、教師の時間」	9・30 愛の小窓 関光夫	9・30 私の闘病生活赤星進	9・00 劇「サザエさん」
10・05 けさの話題小田善一	12・30 食後の音楽「ハダシのボレロ」他	10・10 名作「照葉狂言」	10・00 菊池滋彌のピアノ	9・45 リード集 畑中更予
11・15 朗読「しいのみ学園」		10・30 光と影 鳩山薫子	10・25 主婦の経済畑山良広	10・00 きんぴら先生青春記
12・30 浪曲「親心月の追分」秩父重剛作 宮川左近		11・35 マントヴァーニ楽団	10・40 劇「君ひとすじに」	10・45 婦人の手帳北川敬三
		12・15 オトボケ探偵社	11・35 連続劇「東京の人」	11・00 連続劇「胡椒息子」

800名花の故国へ
興安丸舞鶴着　雲南の奥地からも

【舞鶴発】中共からの一般邦人集団帰国の最終をかざって第十一次帰国船興安丸（七千七十総トン）は廿九日午前七時四十五分花の舞鶴に入港、大門主検疫錨地に投錨した　帰ってきたのは一般邦人七百二名、元軍人、軍属百十三名（男二百六十二名、女二百四十二名、子供三百十一名）計八百十五名、居住地も最終船にふさわしく北は黒竜江から南は廣東の奥地に至るほとんど中国全土にわたり、福建、安徽、西蔵、青海の四省が欠けただけで、"中共の美しい"婦人が多く、みなりも荷物もこれまでのどの帰国者よりも粗末なようだ。それに患者（百卅一名）が多いのも目立った



帰國合せて三万名
今後は香港ルート利用

検疫をすまさせたのち午前十時から患者、婦女子を先頭に上陸を開始、桟橋を埋めた出迎えの家族と再会の喜びをわかち合い祖国の土を踏みしめて援護局第三寮に落ちついた

なお第一次からこんどの第十一次までに塘沽、秦皇島、上海の三港から延廿七隻の帰国船で舞鶴に帰った人々の累計は一般人二万三千六百廿六名、元陸軍関係五千四百五名、元海軍関係四十九名で男一万千五百名、女八千五十名、子供九千五百卅名、計二万九千八十名（船内出生十四名、ヴェトナム帰国者七十一名、沖縄への送還漁夫八名を含む）である、このほか遺骨千卅体（船内死亡一名を含む）遺品四百四十点が運ばれ、帰国者が持ち帰った金の総額は四百五十二万二千三百五十九香港ドル、八千四百六十米ドル、邦貨にして計三億二千万円にのぼっているまた帰国者のうち外国籍のもの一八九名孤児一一七名で結局一人も帰らなかったのは西蔵、青海の二省にすぎない【写真は桟橋で懐かしい肉親と涙の対面】

日赤外事部長三団体乗船最高責任者工藤氏談　集団帰国はひとまずこれで終りとみてよいと思う、今後の帰国者は香港経由で帰ることになろう、交渉相手は今後も三団体であることははっきりした、またソ連戦犯帰国の直後に予想される中共戦犯の集団帰国に一般邦人の帰国希望者を同乗させることを考えている

美人揃いの神田パリス

歸国者は七十名
ソ連の引揚者

廿九日朝九時日赤本社にソ連赤十字社から次の入電があった、これは日赤が帰国者数、配船日時を問い合せたのにたいする返電である　帰国者総数は七十名、船は四月十五日以降にナホトカに到着するよう希望する

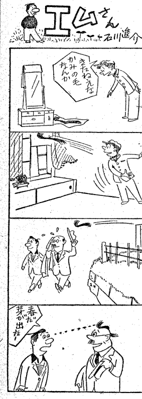
平沢判決4月6日
死刑確定か

帝銀事件の平沢貞通被告(六三)にたいする強盗殺人罪の最高裁判決は四月六日午前十時半から大法廷で言渡される、弁論を開かないで判決を言渡すところからみて上告棄却の判決出るがものとみられ、一二審の死刑の判決が確定するものと予想される

なお最高裁が口頭弁論を開かないで判決や言渡すことは、刑訴法四百八条により「上告趣意の申立てに理由がないことが明らかであると認められる」の場合にかぎられている

美術品泥捕わる
理研社長宅荒し

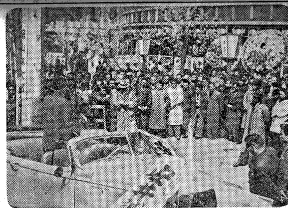
東調布署では廿八日夜品川区中延五の一三二四無職河合徳七(三三)を窃盗の疑いで逮捕した調べによるとさる廿四日午前二時ごろ大田区馬込西四の五一理研光学社長市村清氏(五三)方応接間に侵入、市村氏が三笠宮から拝領した有田焼皿（時価五十万円相当）元鍋島公爵から譲り受け、国宝級といわれる天保年製有田焼皿（五十万円相当）など、同家の秘蔵骨董美術品を八件三百万円相当を盗んだものなお河合は生活費に困ってやったといっており、目黒区大岡山の某古物商へ売却しようとしたところ、不審に思った同店主が同署に連絡捕ったもの

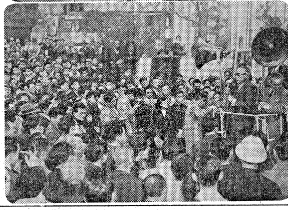


湘南電車荒し
を指名手配

早稲田署では廿九日朝豊島区池袋二の一一四四無職田中高明(二七)を窃盗容疑で検挙、同番地無職高橋肇(二二)を同容疑で指名手配した、調べでは二人はさる九日の午後湘南電車中で乗客の豊橋市花田町六一パチンコ店主芳賀武治さん(三五)が眠っている隙に廿万円相当のライカ一台を盗んだのをはじめ湘南電車専門に現在まで判っただけでも廿件約百万円のカメラドロを働いていたもの

都知事選
街頭に早くも第一声
一騎討ち、まず数寄屋橋で

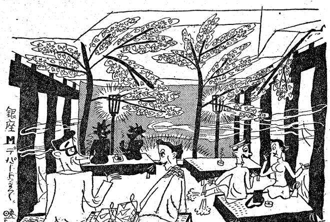




知事選告示の廿九日、都でも都知事選の火蓋がきられた、結局は保守派の推す安井前知事の三選か、革新派からの有田氏か一との両者の対決だが、この日午前十一時有田候補が数寄屋橋で「きれいな水も長い間おいておけばボウフラがわく、知事の三選はゼッタイいけないと思う」と安井氏の三選ストップの弁で街頭第一声を放てば、次いで安井候補も同所で"よりよき都政"をブチあげたのをスタートに都内各所に都知事戦が展開された、さきの衆院選よりも生活に身近な選挙だけに、演説をきく都民の表情も熱心だった【写真は数寄屋橋で第一声の安井候補(上)と有田候補(下)】

陛下藝術院新会員をお招き

天皇陛下は廿九日正午から今春芸術院の新会員になった吉田三郎、村野藤吾、土岐善麿、梅若実、市川猿之助の五氏を中心に松村文相、高橋芸術院長らを招いて皇居表一の間で中食会を催された、終って表三の間でさらに新会員五氏から芸談などを聞きながら歓談され「文化のために一層努力してもらいたい」と激励された



百貨店でお花見

ぶらり春や春のたり　①

場所・銀座のド真ン中デパート

舞台・紅白のだんだら幕、赤い毛せん…造花桜の樹五本、バックは水色、螢光燈が二本、下から間接照明

「春が来た」「春が来た」…デパートの地階にやって来た」とレコードが回って、幕があがる

（ツルリと禿げた老紳士が二人）「こいつは全くうまいとこを考えたもンですなア」

お互にワッハーハー」

（新婚の夢円らかの若夫婦登場）「あのウ浪子さん、疲れたでしょう、ちょっと休んで行きましょう」

（沢山の買物包を床几におく、女店員近寄って）

「何にいたしましょう?」

「あなたのお好きなもの」

（夫の武雄見本の方に進む）

「肉まんとカステラにしようね」

（そこへ二眼レフ・カメラを肩にアベック、ドカドカと登場）

「ボク草餅がいいやァ」

「わたし桜餅よッと」

（仲よく腰かけてパクつく）

「さつき撮った写真いつ出来るの、早くみたいなァ」

「あッ—いけねえあわてゝレンズのカバー取るの忘れてた！」

「イヤーン馬鹿ね—春だわァ…」

（粘っていた老紳士ツラ当てにでかい声で）

「姐ちゃん！　ネエちゃん。お茶のお替りィ！」

「いや河岸を替えてパイ一呑み直しましょうヤ…」

「お花見名所数々あれど、ほれもうこんなに満開じゃご座ンせんか」

「これなら一年中満開で、こりゃあいゝですワイ、サクラ天国、年はとりたくないねエ」

春のマンボ！　マンボォ、おやおやミスティク「春の漫歩」のたりのたりとエッササ、主題歌らしきレコード伴奏で静かに幕＝会話に織り交ぜて各階売場の宣伝をする商魂たくましいデパートの劇風景である＝

えと文　榎本映一



靖国神社で遺族者大会
鳩山首相もあいさつ

第七回全国戦没者遺族大会は廿九日午前十時から靖国神社境内に全国遺族五千余名が集り開かれ、遺族扶助料の増額、扶助範囲の拡大などを決議した、なおこの日鳩山首相、川崎厚相はじめ緒方自由党総裁、河上右社委員長などの挨拶があった

【写真は靖国神社境内で行われた遺族大会】

山の手の呉服商荒し
女まじりの窃盗團逮捕



上須藤久広
中斎藤初江
下松田正三郎

杉並署では廿九日朝までに杉並、豊島、新宿など都内山の手一帯の一呉服商荒しを専門に約二千万円の盗みを働いていた主犯の"ブクロのヒロちゃん"こと板橋区上板橋町一の八一前科一犯須藤久広(二二)の情婦新宿区新宿二の五二一女給斎藤初江(二〇)ら女一名少年二名をまじえる窃盗団の一味計六名を窃盗容疑で、また横浜市鶴見区汐田町一の二二四無職宮本定次(二七)品川区大崎本町二の三九七　無職　堺一雄(二五)の両名を贓物故買容疑で検挙

調べでは主犯の須藤は昨年秋ごろ肺病で自宅付近の日大病院に入院していたが、抜け出して新宿二丁目の特飲街で初江と知り合いになってからはやみつきとなり遊興費に困って、馴染になった初江を抱き込み池袋で仲間になった"正ちゃん"こと無職松田正三郎(二二)＝板橋区大谷口五一六＝ら一味六名と発覚しにくい高級呉服ばかりを狙った窃盗団を昨年暮に作った

一味の手口は初江を連れて狙った店に行き下見したのち二、三日後松田らを連れていずれも深夜表戸をドライバーでこじあけて忍び込むという方法でさる十四日午前二時ごろ新宿区神楽坂六の六九呉服商木村英さん(六二)方に侵入、高級呉服四十一反約五十万円相当を盗んだのを始め同様手口で判っただけでも被害総額は廿数件約二千万円にのぼる盗みを働いていた

盗品は神田の喫茶店を根城に宮本、堺の手を通じて市価の十分の一ぐらいの値段で古物商に売りとばし遊興費にあてていたもの

ふし穴
夜の姫君・いたましい空白

◇…銀座に自家用車を持った夜の姫君がいる、彼女たちのグループはざっと廿人くらい、店？を出す場所は八丁目のW喫茶店付近で、客は和洋を問わないが、月に十万円稼ぐクラスとあってみれば、貧乏人はシャット・アウト、彼女たちの多くは斜陽族というが、「こんな稼業でも仲間におくれを取らないためにはかなりの工夫と努力がいる」と語っている、自宅にはテレビも備えつけそのうち喫茶店でも開いて…と生活設計に余念がないのはいじらしいが、「すべては金よ」と割切ってしまう"心の空白"はいたましい

◇…Nという大家は池上線沿線の某駅付近一帯の大地主、病弱で庭木いじりと店子いじめの好きな御仁、ツメの垢に灯をともそうというふるい型だが最近妾を囲った、女は茅ヶ崎の旧家、落ちぶれて貸室をはじめ、転地療養にきたNを誠心誠意看護したため、ヤモメのNは家事手伝いという名目で自宅に引張り込んだ、彼女は人柄もよいので正妻にしたらという話も出たが、親類は猛反対した、いわく「籍が入れば遺産の半分はやらなければならない」そこで、Nは某小学校わきに住宅金融公庫から金をかりて家を建てて女に住まわせた、そして、民生委員をつついて生活保護法の適用を受けさせ、生業資金を借りて文房具屋をやらせた、間もなく女は夜間は女業平よろしくNの家に泊りはじめたので勤め人に夜間だけ千五百円の家賃で貸して、店番も兼ねさせるという抜け目のなさを発揮、近所の評判になっている—と或る店子の話してくれた"晃越の松"現代版

◇…「あッ、お父ちゃん、お猿のお尻は真赤なんだね」と、子供の社会科の好標本となっている上野動物園のマントヒヒ君、さきごろ赤ん坊が生まれて、母親の腹にちょこなんとぶら下ったおサルの坊やが人気を呼んでいる、この檻には、例のマントをぶらさげたオスとメスが二匹いるが、彼氏のご寵愛になるのは、毛のはげちょろになった母親の方で、相手にされなかった他の一匹は、嫉妬に狂って母親ザルの尻ッ尾をひっぱったり、坊やの足を噛ったり、見物人のオヤジ感嘆して「硫酸ビンの恐怖は人間界だけじゃないんだナ、さりとて"素人目"には綺麗にみえるメスの方を見向きもしないのは、全くサルの心理はわからねェ」（赤）

肉切り機で坊や死亡

廿八日午後七時半ごろ台東区浅草花川戸一の二二肉商柳田幸男さん方で同家店員少年A(一八)が幸男さん長男尊裕ちゃん(三つ)を店の肉切り機械の上に乗せて遊ばせていたが、安全装置がしてあると思いスイッチを入れたところ歯車がまわり尊裕ちゃんの上はく部を切断し出血多量で廿九日午前五時ごろ死亡

車掌さん殉職

廿九日午前二時十分ごろ田端発日暮里行工事臨時列車が日暮里駅の新線ホームに到着の際乗務車掌浜中新蔵さん(四八)が降りそこねてホームと列車の間にはさまれて腰部骨折で付近の病院に収容されたが死亡

私設整理屋も検挙
後樂園殴り込みの喧嘩相手

富坂署では廿九日までに後楽園競輪場私設整理団体布戸組幹部豊島区長崎二の二無職佐藤吉郎(三二)江東区大島六の七〇〇前科一犯無職中本正光(二九)江戸川区東小松川三の三六五二無職宇田川茂(二九)の三名を傷害容疑で逮捕した、調べによると佐藤らは去月廿四日開催中の同競輪場で指定席に無料入場をしようとした向島近藤組幹部趙春樹(二六)ら三名と口論の末場外に連れ出し殴るけるの暴行を加え、趙の顔に全治十ヵ日間の傷を負わせた疑い、なお趙らはこれをうらみ横須賀和田組、松戸箱屋一家などに応援を求め翌廿五日ピストル、短刀などを持って同競輪場に殴り込みをかけようとしたため、すでに廿一日までに一味十名が同署に逮捕されている

親子三人斬り强盗
娘に道案内させて逃走

廿八日夜十時卅分ごろ大田区上池上一〇七一NHK交響楽団勤務大村卯七さん(五二)方の食堂のガラス戸をこじあけて廿歳ぐらい、五尺二、三寸水色の背広を着た賊が侵入、短刀で脅し、卯七さんと妻ヒル・デカルトさん(五二)＝ドイツ人＝とたまたま帰宅した長女久子さん(二九)の三人をしばりあげ、現金千五百円、茶色背広などを奪い、約三時間ねばって廿九日午前一時卅分ごろ、道がわからないからと久子さんに道案内させ、中原街道から中型タクシーで五反田方面に逃走したと東調布署に届出た

留守番の老婆を脅す

廿八日午後三時ごろ品川区大井滝王寺町四五〇一会社員好川博三さん方で、母あいさん(七三)が留守居中、勝手口から卅六、七歳、五尺二三寸、茶レインコートを着た賊が侵入、短刀で脅し電気のコードで両手足を縛りあげ、現金約八百円を強奪逃走したと同夜九時すぎ帰宅した博三さんが大井署に届出た

老人の轢死体 【大船発】

廿八日午後十一時半ごろ東海道線戸塚—大船間の線路脇にカーキー色ジャンパー黒ズボンをはいた六十歳ぐらいの男が頭蓋骨をふんさい両足をひきずられて死んでいる

酔ってはねらる

廿八日夜十一時四十分ごろ渋谷区上通り三の三四先で酔って道を横切ろうとした目黒区下目黒二の四四六床屋職人三浦正男さん(四七)は千代田区神田錦町一の二五〇ニュー東京タクシー運転手矢野雅邦(二三)にはねられ共済病院に収容されたが頭と腰を打って重体

頭部強打で間もなく病院に収容されたが死亡した

直海善三氏

（前東京新聞論説委員長）胃ガンで療養中のところ廿八日午後八時卅五分世田谷区北沢一の一一五五の自宅で死去、五十七歳、四月一日午後二時から三時まで告別式を台東区三崎町団子坂福相寺で小汀利得氏を葬儀委員長昭和経済会葬で行う

あすのスポーツ

△プロ野球　東映対毎日（一時半、駒澤）競馬　大井（十時半）

名古屋まで延長
東京—豊橋間列車

春の旅客混雑を緩和するため国鉄では三月卅一日から当分の間東海道線東京—豊橋間の列車上下各一本を名古屋まで延長運転する、ダイヤつぎのとおり

△下り＝三三一列車　東京発一三・三五、豊橋発二〇・四〇、名古屋着二二・二四

△上り＝三三八列車　名古屋発四・二四、豊橋発六・〇五、東京着一三・〇〇

後楽園競輪四日目成績

◇第一B（千六百）❶矢野十2分13秒1❷御小柴8/4身❸石田耕1/4輪（単）120円（複）100円110円130円（連）❶—❸300円

◇第二B（千六百）❶土屋亘2分16秒1❷遠藤治1/2身❸高橋勇（単）230円（複）140円140円170円（連）❸—❷2240円

◇第三A（二千）❶橋本満2分53秒8❷大橋正1/4輪❸松岡一（単）430円（複）140円130円500円（連）❶—❷1760円

独眼灯

○…廿九日午前十一時五十分ごろ中央区銀座東二の三先昭和通りを通行中の、北区上十条二の一一真殿寿さん(五二)が、何気なくかたわらのマンホールの隙間から百円札一枚が出ているので拾ってみたところ、鉛筆で「この中に人が二人いる、至急助けてくれ」と走り書きしてあった

○…驚いて築地署に連絡、同正午ごろ無事救出した、二人は港区芝高輪南町七日本通信建設株式会社社員沼尾昭さん(二六)同赤羽末子雄さん(五〇)でけさ十時ごろ同僚六名とマンホールの検査中二人だけ忘れられて約四十貫の蓋をしめられたもの判わり、スリラーものめいた"真昼のマンホール事件"もあっけなくチョン

続 情炎の千代田城 (71)

岩崎栄
寺本忠雄画



も一つの駕籠(三)

重秀は手をたたいて、
「これこれ、誰ぞまいれ」
「ははッ」
次の部屋からこたえがあって、うしろのカラカミがサッと大きく左右に押しあけられた。
「あッ、しまった!」
木人が、キラキラッと両眼を見開いた。
鉄砲だった。銀金具の光る短筒が二挺、口を並べて、こちらの胸へ、ピタリと狙いをきめているのだった。一挺は背の高い男、も一挺の方は小柄で、そしてこれも、二人とも黒装束の覆面である。
一挺だけならば、刀を投げつけて手元を狂わせ、隙に乗じて暴ばれ出す手だてもあるし、すぐ右の座にいる客を、盾にとる手段も考えられるのだが、二挺の銃口に睨まれては、いかな木人もお手挙げのほかはなかった。
「こいつァまいったよ。ははは」
笑いながら、泰然と、アグラの膝に両手をついて、
「あきらめた。勝手に料理して貰おう」
左右の客も、主人の重秀も、パッと飛び退って、それぞれに刀を抜いて構えた。
鉄砲のうしろに、スラリと立っていた長井半六が、ゆっくりと、木人の正面五尺ばかりに出て来たそれを重秀が叱った。
「これ、狂犬が飛びつくではないか」
半六は微笑をうかべ、
「こゝろえております」
よほど自信があるのだろう。木人の方に片手をつき出し、
「おい、曲者」
と声をかけた。涼しいような声だが、落ちついている。木人はニヤリとして、
「曲者か。いかにもおまえさんどもから見りゃ曲者じゃの。しかし、こちとらにすればこれで、天にかわって不正を討つ義人のつもりだが」
「曲者が不服とあらば、土屋家浪人吉田求馬、関吟亭木人と号する男。これならば云いぶんあるまい」
「うん、さすがに身元まで洗うて居るな。こゝろ利きたる用人じゃの。よし、面白し、この刀を渡そう、こっちにゃ用のない鉄屑同然の物、さァ受取るがよい」
刀を握って突き出して、掌にひとゆすりためてみせて、
「しかし、これでブッスリやられたらなんとする」
「やっても、無駄と知っているそなたではないか。はゝゝ」
笑いながら差し伸ばした半六の掌へ、これも笑って、
「感心、感心」
と渡してしまった。鞘のない刀身だけを懐紙に包んで片手に、片方の掌を木人の方に一つ煽って、
「立つのじゃ、さァ…」
「こゝろえたり」
すなおに立ち上がり、じろりと主人のほうに一べつをくれて、
「おい、勘定奉行荻原重秀殿! おいらァかつがれてこの邸に来てみて、はゝァ、なるほど! と合点がいった。合点はいったものゝ、もはや二度と再び、こゝから娑婆へは出さぬであろう。おいらも観念したよ。たゞし、むやみとは殺すまい。たいした人質だからの。このおいらは。そこでだ、当分おとなしく人質になっていてやるから、そのかわり、鄭重に扱うのだぞ。いゝか、念をおして置く」
半六が、
「では、人質殿まいられい」
先になって部屋を縁側に出た。木人がそれに続くと、すぐうしろから二挺の鉄砲がついていった。

イタリアのニューフェイスたち
ストラミジョーリ女史に聞く❸





デビュー作で卅万圓 新人でも日本の十倍の収入

ローマ市近郊、テヴェーレ河のほとりに映画都市チネチッタがある、戦前ファッショ政権の全盛時代に統領ムッソリーニが建設したものだ、そして現在人々がこゝを呼んで〃テヴェーレ河畔のハリウッド〃というのは単に〃映画都市〃だけの意味ではない、それはむしろイタリア映画のハリウッドのことをいっているのだ

戦後間もなく例のネオ・レアリスモ全盛のころは一時姿を潜めていたスター・システムが復活、例えばアンナ・マニャーニ(演技力もヨーロッパ最高と定評があるが)のギャラは驚くなかれ一本九千五百万リラ(邦貨五千四百万円)といわれる、日本でいえば大作一本分の製作費だ、マンガーノ、ロロブリジーダ級が一段下って、といっても邦貨三千万円を上回る額だから日本とはケタ違いである、だからロッセリーニ監督がヴィラ(別荘)をあちこちに持ち、ラフ・ヴァローネが朝出がけネクタイに合わせた色の車をガラジュから引出すということにもなる

日本では、まだ未知数だがイケそうだと抜擢した新人もせいぜい一本目は二、三万円だが、マンガーノが七年前十七歳で「苦い米」にデビューのとき既に卅万円のサラリーを貰っていたつまり新人でも日本の十倍の収入があるわけ、デビュー作が当れば忽ち更に数倍にハネ上る、しかし衣類が高価なイタリアだから新人の間はやはり化粧品、食料品などの広告で稼ぐが、スターになると一切広告には出ない、必要がないのである

㊤スターダムにいま一歩の新人クセニア・ヴァルデーリ ㊦隣国で名を売るのも一つの手、フランス人のくせに専らイタリアで稼いでいる新顔リーズ・ブールダン

文部省 藝能選奨受賞決る
映画部門では溝口健二監督ら

文部省では昭和廿九年度の芸能選奨を廿八日次のとおり発表した

△映画部門 溝口健二(芸術祭参加「近松物語」の演出、映画界における多年の業績)碧川道夫、塚越成治、横田達之(色彩映画技術進歩発達に指導的成果をあげた)

▽演劇部門 故川尻清潭(歌舞伎演出を本格的に遂行させた功績)郡司正勝(歌舞伎研究の集大成として「かぶき様式と伝承」「歌舞伎入門」を完成)中村勘三郎「生写朝顔日記」他の演技)

佐分利ドン苦笑
「心に花の―」とんだラヴ・シーン

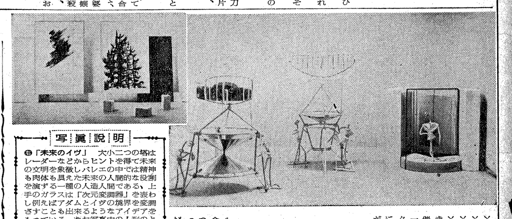
◉…文学座が「にごりえ」以来久々の自主映画として大映と提携の「心に花の咲く日まで」を佐分利信監督で製作中だが、写真は中年女杉村春子女史と文学青年のツバメ仲谷昇クンの愛欲シーンのスナップ、さて始まりは置いてきぼりにされたと感違いした仲谷ツバメが杉村女史の布団の中に上半身を潜らせてオイ〳〵泣くところ

◉…これをカメラのわきで演出する佐分利監督、仲谷の泣き声が布団をへだてて始まると、どうしても歓声の鼻声に聞える、テスト中、監督とそのわきの杉村、笑いが止らなくて弱っていたが、本番でシーンとなり、カメラがジイと回り出し、例の声が始まると、またもや佐分利監督、顔を真赤にして堪えていたが たまりかねて「プーッ」かくて異例のNGが四回

◉…次に外出から戻った杉村に仲谷が狂喜して足をタックル、ドスンと倒すところ、何度テストしても仲谷青年の重い頭が落ちるのは急所で、その上熱い息を吐きながら「小母さま、何故ボクを…」とか何とかしゃべるのだから、いくら着物の上からでもたまらない、かくてこゝでもNG続出、とんだ番狂わせの撮影だった



仲谷と杉村の猛烈なラヴ・シーン



写真説明

㊨「未来のイヴ」 大小二つの塔はレーダーなどからヒントを得て未来の文明を象徴しバレエの中では精神も肉体も具えた未来の人間的な役割を演ずる一種の人造人間である、上手のガラスは「次元変調器」を表わし例えばアダムとイヴの境界を変調さすことも出来るようなアイデアをもっている、なお写真中の人形のようなものは実際の踊り手に変るもの
㊧「乞食王子」二枚の画中、右方が内部、左方が外部を表わしそれはまた城内、外(街)や精神と肉体の区別をも表わし両方合せて同じ空間の中に内外を並列的に配置しているまた前の三つの箱は城郭やお城を表すが、なんのことはない落語家が扇子を使って橋や塔などに見立てるのと同じことであるという

動く彫刻や積木細工
珍奇な舞台装置がつぎつぎお目見得

×このところ各種の舞台公演に××新形式の舞台美術が次々と試××みられ、その目新しさが大き××な話題となっている×

まず廿九日から三日間、俳優座で催される「バレエ実験劇場」の第一回公演には、三つのアブストラクトの舞台装置が採用され、これにまたふさわしい近代音楽や振付が行われている

ガラスと光のバレエ「イリュミナション」(山口勝弘美術、芥川也寸志作曲)能と舞楽に近いパントマイムによる「乞食王子」(福島秀子美術、ミューラー曲)および黛敏郎作曲の「ミュージック・コンクレート」(合成音楽)を初めてバレエに採用した「未来のイヴ」(北代省三美術)の三本立がそれ

「未来のイヴ」では実存主義のサルトルがいうところの〃物質と生命の中間に存在する奇妙な生物〃つまり動く彫刻風な舞台効果を狙ったもので、この装置には高さ四米の鉄製パイプの塔二台を移動させるもので、こゝでもパントマイムを重視している点で新機軸を狙っている、出演者は松尾明美バレエ団

もう一つはラジオ東京テレビ開局記念番組「おやゆび姫」(アンデルセン原作、並河亮製作、三林亮太郎美術)廿景の場合でわが国テレビ始まって以来の豪華版を現出、豊かなるセット、多彩な出演者に橘秋子、邦正美、横山はるひ、彭城秀子、島田の各バレエ団の競演など登場者も二百名に達する

こゝで用いられる装置にはアメリカ・テレビ界が採用しているユニット・セットが初めて登場する予定である、これは新形式の〃組合せ道具〃で野外とか室内とかを積木細工のように組合せて簡ケツ、機動的に場面を展開していく方法で、これまたその成否が注目されているものである

郭申、白光が特出
創作軽歌劇団第一回公演



在日中国のリリック・テナー葛英の主宰する創作軽歌劇団では四月五、六両日七時からヴィデオ・ホールで第一回公演を行うが、これは中国の現代芸術歌、歌謡曲、民謡など有名な廿四数曲を組合せた小編成の創作歌唱劇「恋歌」で葛英の相手役には日本やイタリアで声楽を勉強して中国民謡を得意とするソプラノ郭申学庸が特別出演するほかコロムビア歌手だった白光が演出を、石井漠門下の奇才で戦前満州で活躍した鳳久子が珍らしく舞踊場面を振付け、武蔵野音大教授の保田正が編曲指揮、NBC放送の有坂音楽局長が監督をする【写真は郭申学庸】

松竹 輸出映画五本を選定

松竹の「二十四の瞳」は全米新聞映画評論家選出の一九五四年度最優秀外国映画賞(ヘンリッタ賞)を獲得し、これに気をよくした松竹では四月以降公開のつぎの五作品を海外に輸出する映画と決定した、このうち天然色映画としては「修禅寺物語」「絵島生島」である

「亡命記」(監督野村芳太郎、主演佐田啓二、岸惠子、佐分利信)「青銅の基督」(監督渋谷実、主演山田五十鈴、香川京子、石浜朗)「東京・香港蜜月旅行」(監督野村芳太郎、主演佐田啓二、岸惠子、有馬稲子)「修禅寺物語」(監督中村登、主演高橋貞二、坂東簑助、淡島千景、岸惠子、草笛光子)「絵島生島」(監督大庭秀雄、主演淡島千景)

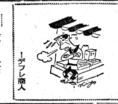
(歌舞伎座四月興行) 吉右衛門、猿之助劇団に時蔵、三津五郎参加で二日初日出し物は

【第一部】「義経千本桜」(鳥居前、鮨屋)二幕、岡本綺堂作、久保田万太郎演出「出雲崎の遊女」一幕、池田大伍作、久保田万太郎演出「西郷と豚姫」一幕「座頭」「浅妻船」

【第二部】吉川英治作、宇野信夫脚色、演出「新平家物語」(常磐木の巻)三幕「弁慶上使」一幕「望月」村上元三作・演出「親子燈籠」二幕「元禄花見踊」

主な配役は猿之助(権太、弁慶)三津五郎(座頭)時蔵(維盛、遊女神、おわさ)勘三郎(お玉、金王丸、太鼓持)幸四郎(西郷、清盛、刑部)歌右衛門(遊女、常磐)友右衛門(お里、庄司の妻)中車(景時、名越四郎、大久保市蔵、伴朴、望月)

(東横ホール四月興行) 勘弥、段四郎、高助、八百蔵、半四郎など出演の若手歌舞伎で五日初日、出し物は【第一部】「ひらかな盛衰記」(先陣問答)一幕、額田六福作、巌谷真一演出「真如」一幕「素襖落」「源氏店」【第二部】岡本綺堂作「心中浪華の春雨」一幕「酒屋」一幕「勧進帳」「封印切」一幕



名都々逸 石井きんざ選

茶柱にきつと良い事一人できめて あなたのお見えを待つ今宵 北多摩・佐藤千恵子

世帯持つ気が浮気の怖さ 壁の耳さえ気をくばる 大森・鈴木一正

けさは他人じゃない二人で 湯ぶねで聴いてるホウホケキヨ 飯坂・今井ちさと

女運無くして仕合せ女房に惚れて 亭主関白無事な春 佃島・扇童

目の上の瘤はお姑さんではなくて いまだに邪魔する懸仇 神楽坂・勝村家喜代栄

◇

皆んなおかめで美人というは 添うと極めてるお前だけ 選者

はと笛

▽…このひと月明治座の吉右衛門劇団は中村勘三郎が長谷川伸作「檻」の五郎吉で、実父恋しさに酒を飲んで暴れる男を演じて、ゲンノーで家中をこわすやら、火鉢を引っくり返すやらの大熱演をやり好評だったが、ヒイキ連は「一生けん命やり過ぎて怪我でもしなければ」とハラハラ



▽…なかでも心配したのが勘三郎夫人の祖母の志津さんで、ことし八十七の高齢だが、若い者そこのけのシャキシャキしたご隠居ぶりを発揮して公演中は、可愛いマゴが怪我をしませんようと連日、芝の自宅から楽屋入りを続け応援したので勘三郎「みんなオバァチャンのお蔭です」と大感激【写真は勘三郎】

3-5